

# 芸術文化活動の発表の場としてご参加ください

## 2018伊賀市民文化祭参加者募集

### 公募事業

### 舞台部門

とき	内容	ところ
11月10日(土)	音楽祭(洋楽)	ハイトピア伊賀5階
11月11日(日)	ライトミュージック	多目的大研修室
11月18日(日)	総合フェスティバル 洋舞・ジャズダンス	伊賀市文化会館
11月23日(金・祝)		
11月24日(土)		

《募集ジャンル》  
 ①ライトミュージック ②洋楽 ③洋舞 ④日本舞踊 ⑤邦楽  
 ⑥大正琴 ⑦吟剣詩舞 ⑧相撲甚句 ⑨新舞踊 ⑩民謡・民舞

※④～⑩の部門は、総合フェスティバルとして開催します。(1舞台につき、時間を制限する可能性あり)  
**【参加資格】** 構成メンバーの主体が

市内にある団体  
 ※洋楽とライトミュージックは個人でも参加できません。  
 ※文化の振興以外の主たる目的(政治・宗教・営利など)を持って活動する団体・個人を除きます。

**【参加費】** 1舞台につき、5,000円  
 ※個人参加は2,500円  
 ※出演にかかる経費や舞台運営経費は、参加者負担です。

### 展示部門

**【とき】** 11月1日(木)～4日(日)

**【ところ】** ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室など

**【募集ジャンル】** 絵画・書・写真・手芸・工芸・生花など  
**【参加資格】** 構成メンバーの主体が市内にある団体・個人

※文化の振興以外の主たる目的(政治・宗教・営利など)を持って活動する団体・個人を除きます。  
 ※1人につき2作品以内とします。

**【参加費】** 1作品につき500円  
 ※展示スペースの関係上、作品のサイズを制限することがあります。

※出品にかかる経費は、参加者負担です。

**展示・舞台部門に**  
 参加する団体の皆さんへ  
 体験会を同時実施する団体を募集します

**【ところ】** 要相談  
**【申込方法】** 別途申込書が必要です。申し込み時にお申し出ください。  
 ※応募多数の場合は、抽選で決定

### 協賛事業

**【募集事業】** 市民文化祭の目的に沿って広く一般の人に公開され、主催者が文化団体・企業・学校・公益法人(宗教法人を除く。)などである事業

**【とき】** 10月1日(月)～11月30日(金)  
**【協賛事業の決定】** 実行委員会決定後、8月中旬に通知する予定です。承認された事業は、広報いが市などでお知らせします。  
 ※事業経費は、全額主催者負担です。

### 公募事業・協賛事業に

申し込むには…  
 申込書に必要事項を記入の上、ファックス・持参で申し込んでください。引き換えに出演・出品者全体会議(開催予定：8月中旬)の案内をお渡しします。  
 ※ファックスの場合、申込後1週間以内に全体会議の案内が返信されないときはご連絡ください。



**【申込期間】** 7月9日(月)～8月8日(水)

**【申込書配布場所】**

文化交流課・本庁舎玄関受付・各支所振興課(上野支所を除く)・各公民館  
 ※市ホームページからもダウンロードできます。

**【申込先・問い合わせ】**

伊賀市上野丸之内1-17番地の13  
 (芭蕉翁記念館内)  
 文化交流課

TEL 22・9621 FAX 22・9619



# 第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画を策定しました

## 生活習慣病を予防しましょう

【問い合わせ】 保険年金課  
 ☎ 22・9659 FAX 26・0151

### 策定の経緯

伊賀市国民健康保険では、第1期計画の期間が平成29年度で終了したことに伴い、「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」と「第3期特定健康診査等実施計画」（平成30年度～2023年度）を一体的に策定しました。

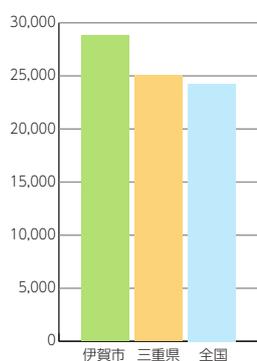
この計画に基づき、特定健診等の結果、レセプトデータなどの健康・医療情報を活用して効果的かつ効率的な保健事業を実施することで、被保険者の健康の保持増進を図り、医療費の適正化をめざすものです。

### 医療費の状況

三重県、全国と比較して平成28年度の被保険者の一人当たり医療費は高くなっています。入院とならないよう受診を継続しながら、重症化を予防することが課題です。

また、疾病別医療費割合は高血圧症、脂質異常症が高くなっており、全医療費のうち生活習慣病に關係する疾患の割合が6割を占めています。医療費を抑制するには、生活習慣病を予防することが課題となります。

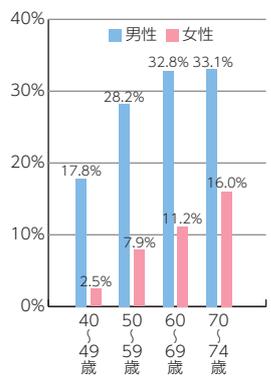
一人当たり医療費の比較  
 (平成28年度累計)



### 年齢階層別メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合

平成28年度における男女別の年齢階層別メタボリックシンドローム該当者の割合は、男女ともに70歳代前半の年齢層が最大となっています。男女比においては、男性が圧倒的に高く、男女の別で大きな開きがあります。

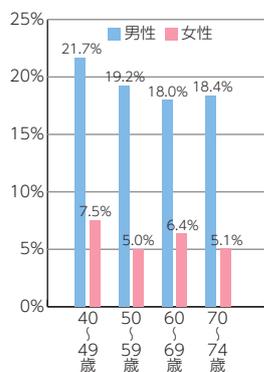
### ◆メタボ該当者の割合



平成28年度における男女別の年齢階層別メタボリックシンドローム予

備群の割合は、男性の40歳代が最も高くなっており、若年期からの生活習慣の改善が必要です。

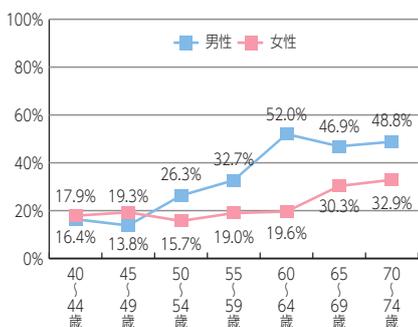
### ◆メタボ予備群の割合



### 年齢階層別特定健診受診率

男女別の年齢階層別特定健診受診率について、受診率が最も高い年齢層と最も低い年齢層の受診率の開きは、男性が38・2ポイント、女性が

### 特定健診受診者数 (平成28年度)



### 今後の取り組み

○メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健診を実施するとともに、特定健診および脳ドック・人間ドックの結果に基づいてそれぞれに応じた保健指導を実施します。

○がん検診・歯周疾患検診を実施します。また、健康マイレージ事業や糖尿病性腎症重症化予防プログラムを実施します。

○重複・頻回受診指導や後発医薬品利用促進を周知します。

○年1回、必ず健康診断を受けましょう。自分の体の状態を知ることが健康づくりの第一歩です。

○健診の結果を日々の生活に生かし、生活習慣を見直しましょう。

※特定保健指導の対象になった人には案内が届きますので、指導を受けてください。